



## 始まりは“選択できない出会い”から…

今号から、学校通信のタイトル『5つ星』を『5つ星<sup>プラス</sup>』にバージョンアップしました。

『5つ星』というタイトルには、豊中町には五つの小学校があり、一人一人が身に付けた良さ(星)を出し合えば、 $1+1+1+1+1=5$ (5つ星…どこにも負けない中学校)になるという願いが込められています。今年度は、これまで以上の高みを目指したいことと町外からの生徒もいることから、『<sup>プラス</sup>』を加えました。

さて、新しいクラスでのスタートは順調ですか。

皆さんは、学級や学校を選ばせん。縁<sup>えん</sup>があって、たまたま同じ学校の同じ学級になっただけです。それは職員も同じで、たまたま異動で本校勤務となり、担当学年や学級が決まっただけです。

出会いは、誰にも選択<sup>せんたく</sup>できません。

この“選択できない出会い”で始まった集団を、これから1年かけて、“語り合い、認め合い、支え合い、高め合う集団”に育てていってほしいと思います。どうすれば、できるか。それは、それぞれの学級・学年で、知恵<sup>ちえ</sup>をしぼってください。

「自己存在感<sup>じこぞんざいかん</sup>」という言葉を知っていますか。語り合う(認め合う、支え合う、高め合う)ことは誰とでもできることではなく、まずは互いに自己存在感を実感できる関係づくりが大切です。

自己存在感<sup>じこぞんざいかん</sup>……「一人の人間として大切にされている」という実感<sup>じっかん</sup>

人間は弱いもので、人と比較して、自分はだめだと思ったり、反対に、人を馬鹿<sup>ばか</sup>にしてしまったりすることがあります。誰もが「一人の人間として大切にされている」と実感できるような、温かい関係を互いに育<sup>はぐ</sup>んでほしいと思います。

4月は、飛行機<sup>たと</sup>に例えるなら「離陸<sup>りりく</sup>」の時期です。何事<sup>なにごと</sup>も始まりにはエネルギーが必要ですが、少しでもいい「離陸」をすることが、その後の「安定飛行」につながります。シートベルトをしめて(=気を引き締めて)4月の後半を過ごしましょう。

入学式の「歓迎の言葉」で露口さんが話したように「中学校の3年間は本当に短い」ものです。これから始まる1年間は、その短い3年間の3分の1に当たります。個人としても、集団としても、一回り成長できる1年間になるよう期待しています。

ご家庭のご協力を、よろしくお願いいたします。

入学式 在校生代表「歓迎の言葉」



来年の桜の頃の、皆さんの成長した姿が楽しみ！